

令和2年度第5回 多摩市男女平等参画推進審議会 要点録

開催日時：令和3年2月12日（金） 委員へ資料送付
令和3年2月16日（火） 委員からの意見集約
※上記やり取りをもって一回の会議開催とみなします。

場 所：書面会議により開催

出席委員：木本喜美子委員、岡村隆広委員、神子島健委員、神山直子委員、
堤香苗委員、藤江美也子委員（会長・副会長以下50音順）

欠席委員：広岡守穂委員、真野文恵委員

事務局：河島課長、西担当主査、吉田主事

傍聴者：なし

（発言者凡例：◎会長、○委員、◇事務局）

次 第

1 令和2年度第4回多摩市男女平等参画推進審議会要点録（案）（報告）

◇意見なしのため、内容を確定する。

2 議題

（1）「第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画」原案について

資料1 「第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画」原案

資料2 「第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画」原案【概要版】

資料3 補足資料（審議会からのご意見について）

資料4 「第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画（素案）」に関するパブリック
コメント一覧

（委員からの主な意見）

<全体について>

○コロナ禍に策定した行動計画であるという観点で記述したのは良いと思う。

○条例の認知度が低いということは大変残念なことである。また、条例に基づいて性的指向・性自認（SOGI）に関する啓発事業などの先進的な取組を行ってきているが、そうした条例をもつ市の市民であるという意識が市民にきちんと形成されていないのは、もったいないと思う。パートナーシップ制度を導入することによって、市民の意識も変わってくるのではないか。

- 基本目標を6つから4つに減らしたことは、計画の持つメッセージをシンプルにするという意味で良いと思う。
- 基本的に分かり易く、良いと思う。

<内容について>

- 「性別役割分担意識等による思い込みが残っていることが見受けられる」の記載があるが、特に明記されていないので、読む人のバイアスに委ねられているように思えた。
- 計画の見直しについて、「計画期間の中間年である令和8年度に見直しを予定しており、社会情勢の変化や市民意識の変化等に適宜対応していく。」とし、あくまでも予定は5年だが、環境変化には柔軟に対応をしていくというような表現にしてはどうか。
- SDGsとの関わりについて、「以下の目標の達成に向けた取組に関連するものとして取組を推進します。」とあるが、「取組」と言葉が重なっているため、修正してはどうか。
- ◇「以下の目標の達成に向けた取組に関連するものとして対応します。」と修正する。
- 「多摩市第2次配偶者暴力対策基本計画」とあるが、基本目標3課題1のように「配偶者等」と「等」が付いていないことが少し気になった。
- 原案39ページ本文最後に「最も高く」という表記があるが、過去の日本の順位として「最も高く」という意味か。
- ◇「なお、全国におけるひとり親世帯の相対的貧困率は48.1%（平成30（2018）年）であり、OECD（経済協力開発機構）加盟国35か国中34位と最も高くなっています。」から、「なお、全国におけるひとり親世帯の相対的貧困率は48.1%（平成30（2018）年）であり、OECD（経済協力開発機構）加盟国35か国中34位と高くなっています。」と修正する。
- 企業に対して性的指向・性自認（SOGI）に関する研修をやるほど、ビジネスパーソンの意識が変わってくるという全国調査結果がある。強力に推進していただきたい。
- 基本目標3課題2の現状と課題において、「デートDV」や「JKビジネス」に括弧がついて目立っているが、大きな意味はあるのか。一部だけについているのはやや違和感がある。
- ◇括弧を外し修正する。

<概要版について>

- 概要版の見返しに条例の抜粋が入っているのは、とても重要な意味がある。他方、この条例についてよく知らない人にとっては、形式的に書いてあるくらいに思ってしまう可能性があるので、可能なら「はじめに」で条例のことについて触れてもらえればと思う。

(結論)

以上のいただいたご意見を踏まえ、「多摩市女と男がともに生きる行動計画推進会議」を経て経営会議にて原案を決定する。

3 その他